



上創研ってこんなところ！

上創研の業務をのぞいてみよう



地域の課題や魅力が見える化(情報編集)



人口や経済などに関する統計データの分析結果や、地域資源や活動団体の情報などは、数字や文字だけでなく、地図やグラフを用いて市民の皆さんにも分かりやすい情報になるよう心がけています。



データ集



分かりやすい資料を工夫しながら作成



時には図書館で調べ物をすることも



データは市内の大学の授業でも活用されています



地域の魅力や課題を学ぶ「新潟学」などの授業で、上創研から提供を受けた人口や地域資源に関するデータを活用しています。学生には授業を通して地域のことを知ってもらい、将来、地元で暮らす患者さんに寄り添い、地域に貢献できる看護師、保健師になってほしいと願っています。

学び合い・話し合いの場づくり(研究交流)

定住促進に向けた地区ごとの研修会やワークショップ、シンポジウムなどを開催しています。テーマに応じて市民の皆さん、市の関係者、研究機関との共同研究や意見交換などを行い、まちづくりのきっかけづくりを行っています。



研究交流



柳澤 上席研究員



昨年度開催した浦川原区・大島区・牧区による地区別まちづくり住民ワークショップ



地域の強みを「高気圧」、弱みを「低気圧」、新しい風を「台風」に見立てて、「地元天気図」を作成



ワークショップ参加者に聞いてみました！

上創研から示された人口や地域資源のデータを基に、チームで大島区の団体や人材のつながりを示した図を作成しました。このワークショップがきっかけで、「いいね！おおしま☆むらづくりプロジェクト」を設立し、定住促進に向けたまちづくりに取り組んでいます。



大島区 中原さん

これからのまちづくりを提案(政策提言)



すどう 須藤 主任

学び合い、話し合いに役立つ情報を提供したり、その場で見えてきた課題の解決策を提言したりするために、地域活性化のさまざまな事例や仕組みに関する調査研究を行っています。また、必要に応じて、市役所の各課が取り組む事業の支援も行っています。

これまでの取り組みをチェック

市ホームページでは、過去の調査研究報告書や活動報告書、ニュースレターなどを掲載しています。



データに基づき地域を深掘り

上越市創造行政研究所のしごと

■問合せ…上越市創造行政研究所 (☎025-526-3490)

まちづくりに関するさまざまなデータなどを活用して調査研究を行う「上越市創造行政研究所」(略称:上創研)。今号は、市政における重要課題の解決や、地域のまちづくりをサポートするため、調査研究活動を中心とした業務を行っている上創研についてご紹介します。



上越市創造行政研究所とは？

市独自の調査研究機関です

上創研は、地方において、自分たちのことは自分たちで責任を持って決めていくという時代に対応するため、市の政策立案能力のさらなる向上を目指し、平成12年4月に当市独自のシンクタンクとして設立しました。現在は6人の職員が保健センター内の事務所で業務を行っています。

地域のまちづくりをサポートするため、調査研究を行っています

上創研では、人口をはじめとするデータベースの構築や、持続可能なまちづくりに向けた課題共有のための市民・職員向け勉強会やワークショップ、シンポジウムの企画・開催、調査研究などを行っています。現在は3つの柱に基づき、上越市のまちづくりをサポートしています。



藤山 所長

上創研の取り組み 3つの柱

情報編集

地域の現状や課題、魅力が見える化するためデータベースを作成します。



研究交流

まちづくりに関する学び合いや話し合いの場をつくります。



政策提言

まちづくりの参考となる情報提供や提言のための研究を行います。



持続可能な社会に向け 地域住民と共に歩みを



藤山浩所長

1959年島根県生まれ。広島大学大学院博士課程修了。「島根県中山間地域研究センター」研究統括監などを経て2017年「(一社)持続可能な地域社会総合研究所」所長就任。2023年「上越市創造行政研究所」所長就任(兼務)

日本でもあまり類を見ない
魅力にあふれたまち・上越市

近年、人口減少や高齢化が進み、地球温暖化により自然災害が頻発化・激甚化する中、今が持続可能な社会をつくる勝負のときだと感じています。そのためには、循環型社会への転換により自然環境と共生しながら、地域の担い手を確保していくことが必要だと思えます。

循環型社会を目指す上では、上越市には、中山間地から平野、海さらには工業地帯や市街地もあり、生きていく上で必要な資源が地域内で賄える力があります。このことは、全国的にも珍しいことです。この素晴らしい地域に加え、上越市は地域自治区制度があることも強みです。地域のまちづくりは、

住民の皆さんが主体となって取り組むことが必要ですので、地域自治区制度は今後の持続可能な社会を形成していく上で、ますます重要となってくるでしょう。

エビデンス(根拠)に基づいた情報で
まちづくりに貢献

上創研は、行政と地域住民の皆さんが共に進めていくまちづくりを、専門性を持ってサポートしていく、自治体のシンクタンクの役割を担っています。まちづくりを進める上で重要なのは、まず地域の現状を知ることです。ここがスタート地点になります。私たちはその第一歩として、日々データの作成に取り組んでいます。今後は、地域で持続的に生産できる食料や、資源がどのくらいあるかを地図で見える化し、地域の産業を棚卸し

するなど、エビデンスに基づき地域の現状を見える化することで、地域課題解決の糸口を見つけるサポートをしていきたいと思えます。

地域の皆さんによるまちづくりを
伴走型で支援

研究所では見える化したデータを提供するだけでなく、地域住民の皆さんにデータから読み取れる地域の課題や可能性を分かりやすく伝え、そこから見える地域の将来像を作り上げるサポートをすることも大切な役割だと考えています。今後も、調査研究を行うだけでなく、実際に市内各地に赴いて住民の皆さんと交流しながら、伴走型でまちづくりを行えるようにサポートしていきたいですね。

もっと上創研を知る！まちづくりを考える！

上創研シンポジウム2024

開催日
12月5日(木)

私たちと一緒にまちづくりについて考えましょう！

●シンポジウム内容

○第1部(午後3時30分～5時30分) = 湯浅誠氏(認定NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ 理事長)による講演、湯浅氏と藤山所長による対談

○第2部(午後6時～8時) = 上創研の研究活動の報告

※当日はこれまでの上創研の取り組みを紹介するパネル展示もあります

▶ところ…ミュゼ雪小町 ▶定員…100人(申込順)

▶申し込み・問合せ…11月5日(木)以降に市ホームページの申し込みフォームまたは上越市創造行政研究所(☎025-526-3490)



豊岡主任

村上 会計年度任用職員